

2019年 福岡県ライフセービング協会 パトロール統計

■パトロール概要

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県 LS 協会
LSC	九産大 LSC・博多 SLSC	九産大 LSC・福岡大 LSC・博多 SLSC	新宮 LSC	宗像 LSC	5LSC
期間	7/13~9/1	7/13~8/31	7/6~9/1 (土日祝日のみ)	7/6~8/31	7/6~9/1
日数	50 日	49 日	16 日	57 日	延べ 172 日
総入込数	7,500 人	17,000 人	5,215 人	4,705 人	延べ 34,420 人
ピーク時入込数	850 人	2,000 人	1,000 人	454 人	延べ 4,304 人
パトロール時間(日)	6.5 時間	6.5 時間	7.5 時間	9 時間	平均 7.375 時間
延べ LS 数	657 人	320 人	122 人	166 人	延べ 1,265 人
延べパトロール時間	4,271 時間	2,080 時間	915 時間	1,494 時間	延べ 8,760 時間

※ 延べライフセーバー数=海水浴場開設期間中に配置した人数の合計

※ 延べパトロール時間=1日のパトロール総時間×延べライフセーバー数

■レスキュー概要

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県 LS 協会
レスキュー数	23 人	9 人	9 人	3 人	44 人
EC					0 人
PA	23 人	9 人	9 人	3 人	44 人

※ EC=Emergency Care (救助した時に意識が無い(反応がない・目を開けない))

※ PA=Preventive Action (救助した時に意識がある(反応がある・目を開ける))

■レスキュー詳細

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県 LS 協会
PA	23 人	9 人	9 人	3 人	44 人
PA(男性)	14 人	8 人	6 人	2 人	30 人
PA(女性)	9 人	1 人	3 人	1 人	14 人
PA(0~9 歳)	15 人	3 人	4 人		22 人
PA(10 歳代)	8 人	4 人		2 人	14 人
PA(20 歳代)		2 人	5 人		7 人
PA(40 歳代)				1 人	1 人
PA 自然要因(風流され)	4 人	9 人			13 人
PA 自然要因(離岸流)			1 人	3 人	4 人
PA 自然要因(陥没・急深)			2 人		2 人
PA 個人要因(泳力不足)	19 人	9 人	8 人	3 人	39 人
PA 個人要因(疲労)			1 人		1 人
PA 行為(浮具有)	12 人	9 人	8 人	2 人	31 人
PA 行為(浮具無)	11 人		1 人		12 人
PA 行為(サーフィン)				1 人	1 人

■ FA 詳細

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県 LS 協会
FA	54 人	20 人	27 人	13 人	114 人
FA(擦過傷)	3 人		1 人	1 人	5 人
FA(切創)	4 人	7 人	1 人	1 人	13 人
FA(挫創)				1 人	1 人
FA(骨折)				1 人	1 人
FA(クラゲ)	5 人	5 人	8 人	14 人	32 人
FA(エイ)			2 人		2 人
FA(とげ)	40 人		1 人	9 人	50 人
FA(爪はがれ)	1 人				1 人
FA(泥酔)	1 人	8 人			9 人

※ FA=First Aid (応急手当)

■ 対応件数

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県 LS 協会
通報対応	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
海上保安庁					0 件
消防(救助)					0 件
警察					0 件

■ 総論

この統計は、公益財団法人日本ライフセービング協会に加盟する福岡県ライフセービング協会に所属する福岡県内各ライフセービングクラブが夏季に海水浴場において活動したパトロールの統計です。

2019年の夏季パトロールでは死亡事故などの大きな海水浴事故はなく、5LSCが活動する4浜でのレスキューは44人(福岡県ライフセービング協会認知)でしたが、いずれも公的救助機関(海上保安庁・消防・警察)を要請することなく、各LSCで対応できた比較的軽微な事案でした。

例年、多くの死亡事故を含む海水浴遊泳事故が発生している福岡県内の海水浴場等ですが、上記4浜以外においても、福岡海上保安部管轄での海水浴遊泳事故が0人、死亡事故0人(いずれも福岡海上保安部認知)となりました。

PAの44人のうち、男性が68.2%を占め、0～9歳が50.0%、0～19歳で81.8%、0～29歳では97.7%を占めており、PAの3人に2人は男性で、若年層がとても多いことがわかります。自然要因では風や離岸流に流されるが38.6%、個人要因では泳力不足が88.6%であり、今後は若年層に対しての海水浴安全啓蒙や教育が望まれます。

2019年度から福岡県ライフセービング協会が設立されたことに伴って、福岡県内のパトロール統計を開始し、福岡海上保安部との情報共有も予定しています。今後とも各行政機関や関係各位のご協力や福岡県内における連携強化により、福岡県内の溺水事故ゼロに向けて、更なる努力と情報共有を図っていききたいと考えています。



福岡県ライフセービング協会

Mail : info@lifesaving.fukuoka.jp